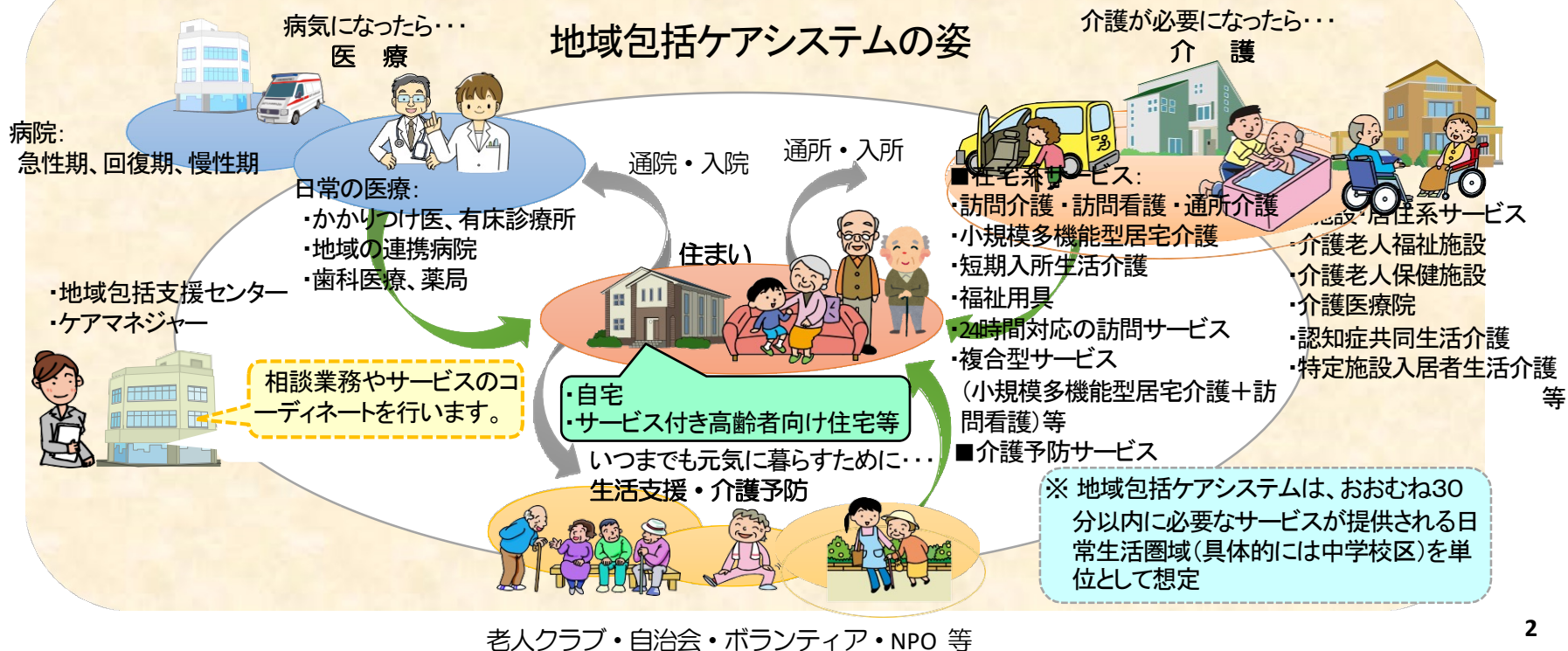


地域包括ケアを支える 地域薬局

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の機能のイメージ

- 薬の専門家として、住民の薬物療法全体(外来、在宅医療)について、一義的な責任を持って提供。
- 住民の健康維持・増進のためにOTC、健康食品等を提供し、その適正な使用促進による健康を確保。
- 最も気軽に相談できるファーストアクセス機能を活用し、医療・介護の住民窓口として、住民の様々な相談(健康相談、栄養相談、介護相談、医療相談等)を最初に受付(適切な相談窓口の提供など)。



- 「**かかりつけ薬局・薬剤師**」として、かかりつけ医等と連携しながら、上記機能を一体的に地域住民に提供することにより、健康の維持・増進を図りつつ、困ったときの相談役と、医療必要時の適切な薬物療法の提供が可能となり、住民の安心・安全な生活の確保に貢献。

介護

生活指導

地域包括ケアへの参画



医療



健康の維持・増進

- ・ OTC、衛生材料、健康食品等によるセルフメディケーション

薬局



適切な薬物療法の提供

- 在宅医療における薬物療法
- 外来医療における薬物療法
- 「かかりつけ医」と連携した
- 「かかりつけ薬剤師」の薬学管理

医療・介護の相談窓口 困ったときの相談窓口

- ・ 医療に関する相談窓口
- ・ 介護に関する相談窓口
- ・ 健康・栄養相談

地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の機能のイメージ

- 薬の専門家として、住民の薬物療法全体(外来、在宅医療)について、一義的な責任を持って提供。
- 住民の健康維持・増進のためにOTC、健康食品等を提供し、その適正な使用促進による健康を確保。
- 最も気軽に相談できるファーストアクセス機能を活用し、医療・介護の住民窓口として、住民の様々な相談(健康相談、栄養相談、介護相談、医療相談等)を最初に受付(適切な相談窓口の提供など)。

- 「かかり
により
り、住

介護



地域の多職種と連携した 服薬管理指導

薬局



医療・介護の相談窓口
困ったときの相談窓口

- ・ 医療に関する相談窓口
- ・ 介護に関する相談窓口
- ・ 健康・栄養相談

適切な薬物療法の提供

- ・ 在宅医療における薬物療法
 - ・ 外来医療における薬物療法
- 「かかりつけ医」と連携した
「かかりつけ薬剤師」の薬学管理

令和4年4月19日	第4回薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワ -キンググループ	資料2-1
-----------	-------------------------------------	-------

地域における薬剤師サービスの提供

1. 全体像及び論点等
2. 他職種連携、病院薬剤師との連携(薬薬連携)
3. 健康サポート機能の推進
4. 薬局機能の強化、役割の明確化
 - ①地域連携薬局の役割、薬局間連携
 - ②災害や新興感染症発生時に備えた対応
 - ③僻地や離島等における医薬品提供体制
 - ④地域における関係者の携
5. その他

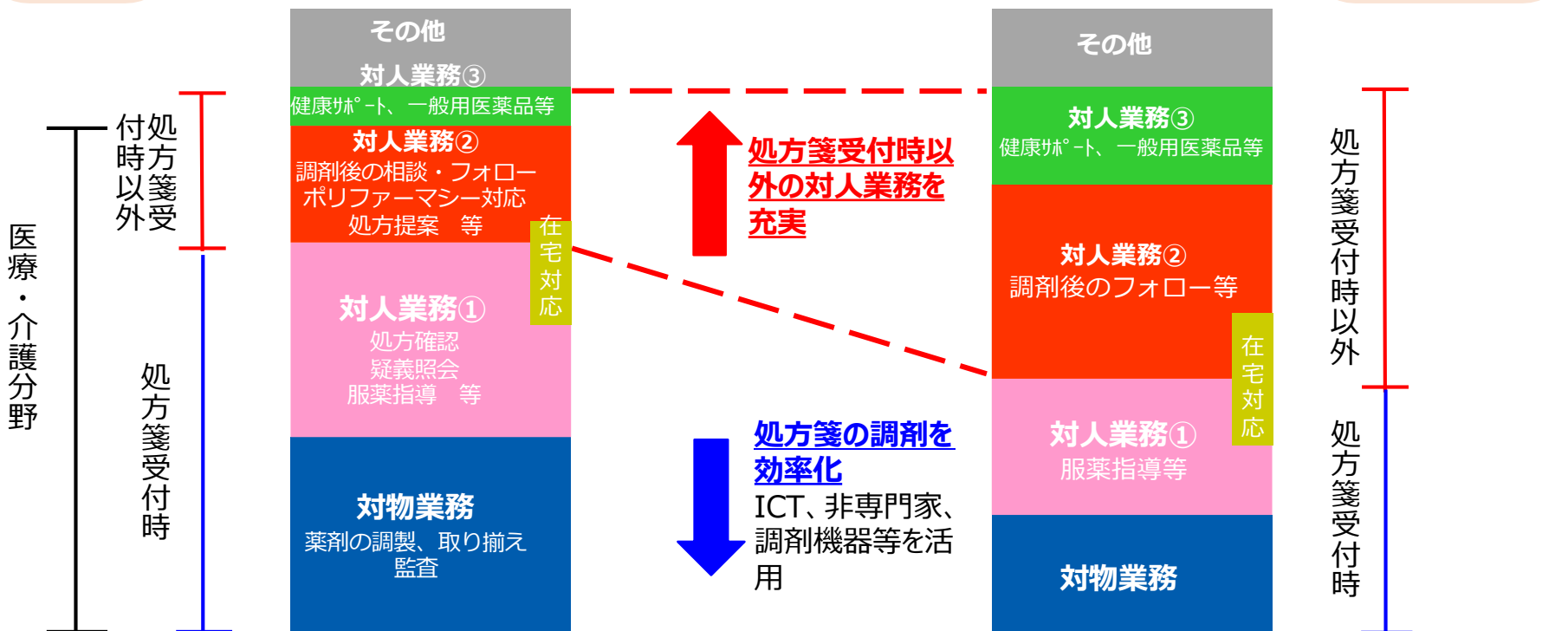
地域において職能を発揮する薬局薬剤師の目指すべき業務配分（イメージ）

- 現状の薬局薬剤師の業務としては、処方箋への対応（対物業務、処方確認・服薬指導）が多い。
 - **地域で活躍する薬局薬剤師には、処方箋受付時以外の対人業務**（調剤後のフォロー、ポリファーマシー等の対応（対人業務②部分）、健康サポート機能等（対人業務③部分））**の充実が必要**。
- ※ 効率性や利便性を重視し、処方箋受付時の対応が中心の（すなわち、処方箋受付時以外の対応が少ない）薬局もあり得る。ただし、そのような薬局が増えすぎないような対策が必要。

現状の薬局
（イメージ）

（業務配分の割合）

将来のあるべき姿
（イメージ）



調剤薬局：2022年度改定のまとめ

～2020年度

2022年度～

調剤料

薬剤調剤料
(2022年度新設)

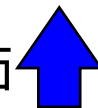
調整・取りそろえ・監査



対物

調剤管理料
(2022年度新設)

患者情報を薬学的に評価



機能

薬剤服用歴
管理指導料
(2020年度新設)

服薬管理指導料
(2022年度新設)

服薬管理指導



対人

新たに追加する機能

- ①減塩指導を含む生活指導
- ②医療機関へのフィードバック
- ③生活情報のデータベース化

地域支援
体制加算
(2020年度増額：38点)

地域支援体制加算
4段階に細分化

今後、地域連携認定薬局との連動？

調剤基本料

調剤基本料

中規模以上の経営効率を考慮

立地

薬剤料

薬剤料

毎年改定・後発品促進・薬価差益率減

調剤薬局：2022年度改定のまとめ

～2020年度

2022年度～

調剤料

薬剤調剤料

調整・取りそろえ・監査



対物

薬剤服用歴
管理指導料
(2020年度新設)

服薬管理指導とは
何を指導する？

価



機能



対人

指導
バック
-ス化

地域支援
体制加算

地域支援体制加算
4段階に細分化

今後、地域連携認定薬局との連動？

(2020年度増額：38点)

調剤基本料

調剤基本料

中規模以上の経営効率を考慮

立地

薬剤料

薬剤料

毎年改定・後発品促進・薬価差益率減

調剤薬局：2022年度改定のまとめ

～2020年度

2022年度～

調剤料

薬剤調剤料

調整・取りそろえ・監査

↓ 対物

薬剤服用
管理指導
(2020年度)

重症化予防をめざして
生活指導する！

↑ 機能

↑ 対人

地域支援
体制加算

地域支援体制加算
4段階に細分化

今後、地域連携認定薬局との連動？

(2020年度増額：38点)

調剤基本料

調剤基本料

中規模以上の経営効率を考慮

立地

薬剤料

薬剤料

毎年改定・後発品促進・薬価差益率減

調剤薬局：2022年度改定のまとめ

～2020年度

2022年度～

調剤料

薬剤調剤料

調整・取りそろえ・監査



対物

薬剤料
管理料
(2020年)

治療効果の最大化

機能

対人

リスクの最小化

地域支援
体制加算

地域支援体制加算
4段階に細分化

今後、地域連携認定薬局との連動？

(2020年度増額：38点)

調剤基本料

調剤基本料

中規模以上の経営効率を考慮

立地

薬剤料

薬剤料

毎年改定・後発品促進・薬価差益率減

医薬連携と服薬管理指導の実践・フィードバック

医療機関



腎保護治療



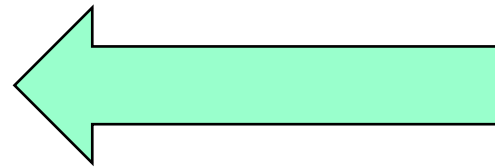
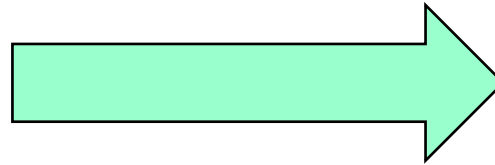
調剤薬局



服薬管理指導



処方箋に
減塩指導の依頼コメント



患者の服薬状況等に係る
情報提供書

患者の服薬状況等に係る情報提供書	
患者氏名	
性別	
年齢	
住所	
電話番号	
かかりつけの医療機関	
1. 処方薬剤	
2. 服薬状況 (処方薬剤、服用回数、服用時間、服用回数、服用回数)	
3. 服薬管理指導 (処方薬剤、服用回数、服用時間、服用回数、服用回数)	
4. 服薬管理指導 (処方薬剤、服用回数、服用時間、服用回数、服用回数)	
5. 服薬管理指導 (処方薬剤、服用回数、服用時間、服用回数、服用回数)	
6. その他	

【添付書類】
1. 処方箋
2. 処方箋控え
3. 処方箋控え